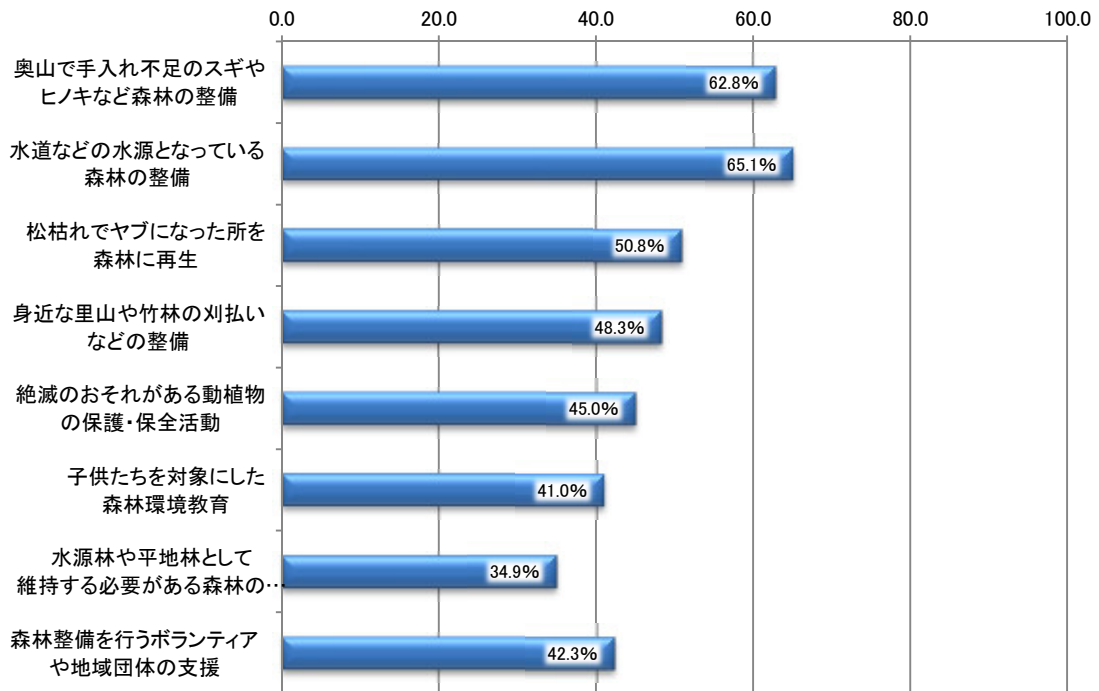


### 3) 問3 「ぐんま緑の県民税」を活用した取組について

「ぐんま緑の県民税」は、「豊かな水を育み、災害に強い森林づくり」、「里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造」を目標に、次の取組を行っています。あなたが大切だと思う取組は何ですか。該当する番号をすべて○で囲んでください。

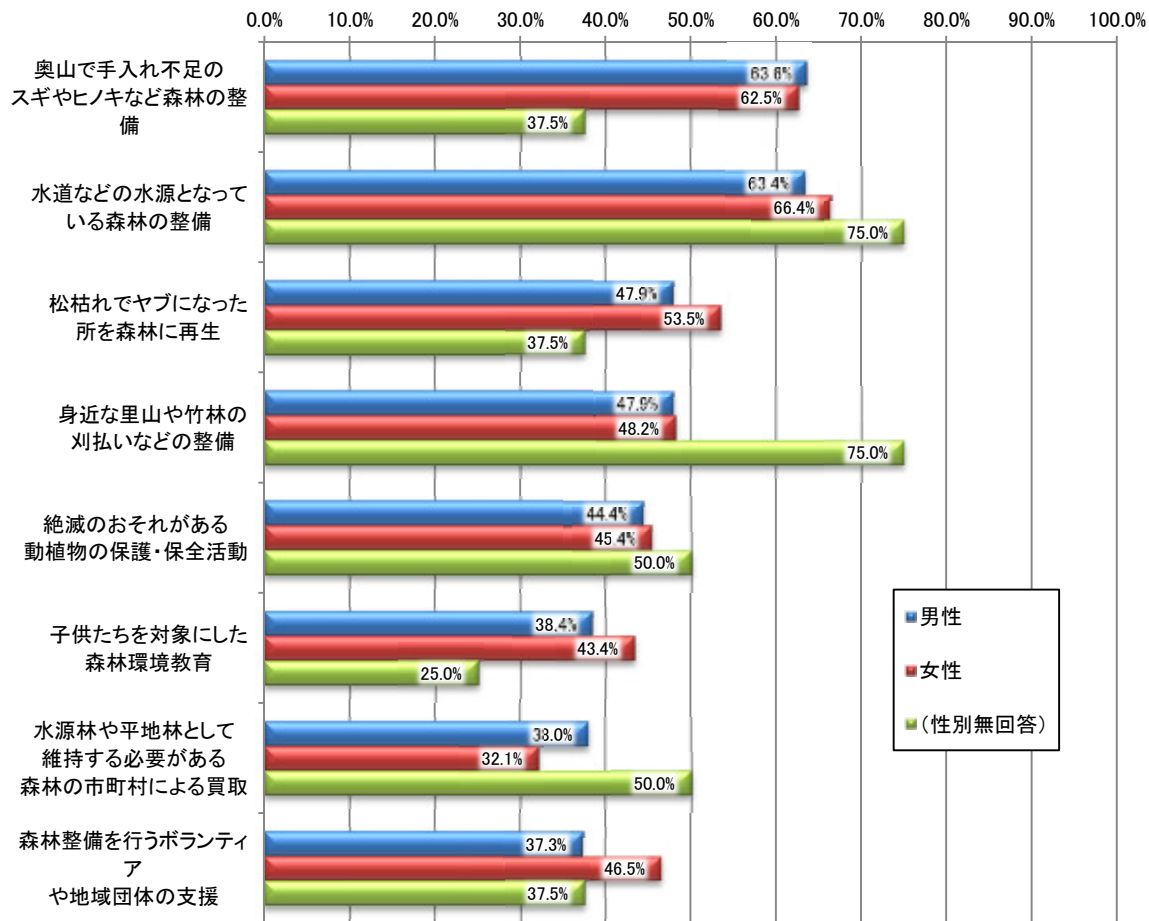
#### ① 項目ごとの回答者数



項目	人数	構成比 (%)
奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	630	62.8
水道などの水源となっている森林の整備	653	65.1
松枯れでヤブになった所を森林に再生	510	50.8
身近な里山や竹林の刈払いなどの整備	484	48.3
絶滅のおそれがある動植物の保護・保全活動	451	45.0
子供たちを対象にした森林環境教育	411	41.0
水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取	350	34.9
森林整備を行うボランティアや地域団体の支援	424	42.3
計	n=1,003	100.0

奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備や水道などの水源となっている森林の整備については6割以上の回答者が大切な取り組みと考えていることがわかった。しかし森林環境教育や公有林化については4割程度の回答となった。

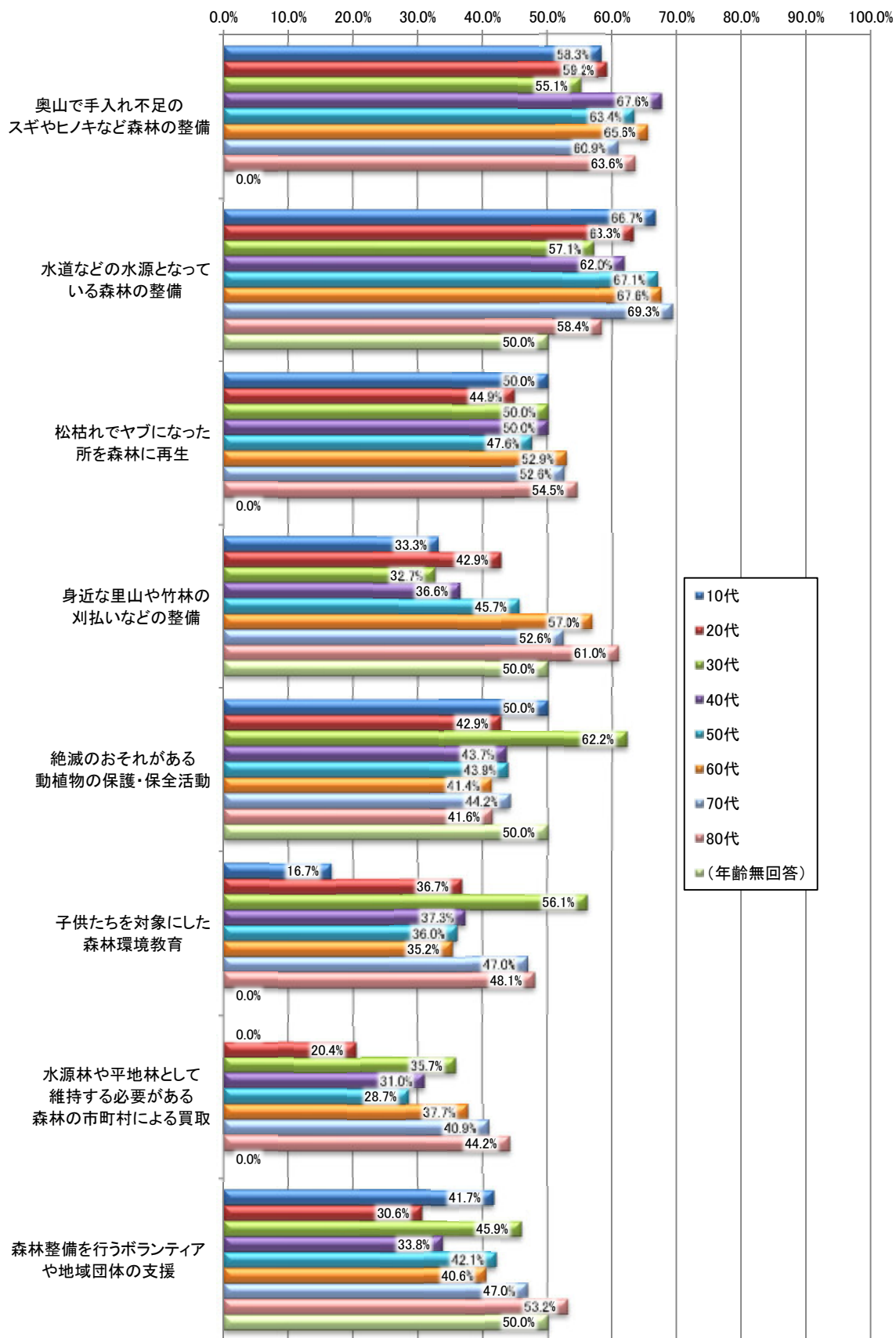
## ② 男女別の回答者数



項目	男性		女性		(性別無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	288	63.6%	339	62.5%	3	37.5%
水道などの水源となっている森林の整備	287	63.4%	360	66.4%	6	75.0%
松枯れでヤブになった所を森林に再生	217	47.9%	290	53.5%	3	37.5%
身近な里山や竹林の刈払いなどの整備	217	47.9%	261	48.2%	6	75.0%
絶滅のおそれがある動植物の保護・保全活動	201	44.4%	246	45.4%	4	50.0%
子供たちを対象にした森林環境教育	174	38.4%	235	43.4%	2	25.0%
水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取	172	38.0%	174	32.1%	4	50.0%
森林整備を行うボランティアや地域団体の支援	169	37.3%	252	46.5%	3	37.5%

性別による大きな差異は特に見られなかった。

### ③ 年代別の回答者数

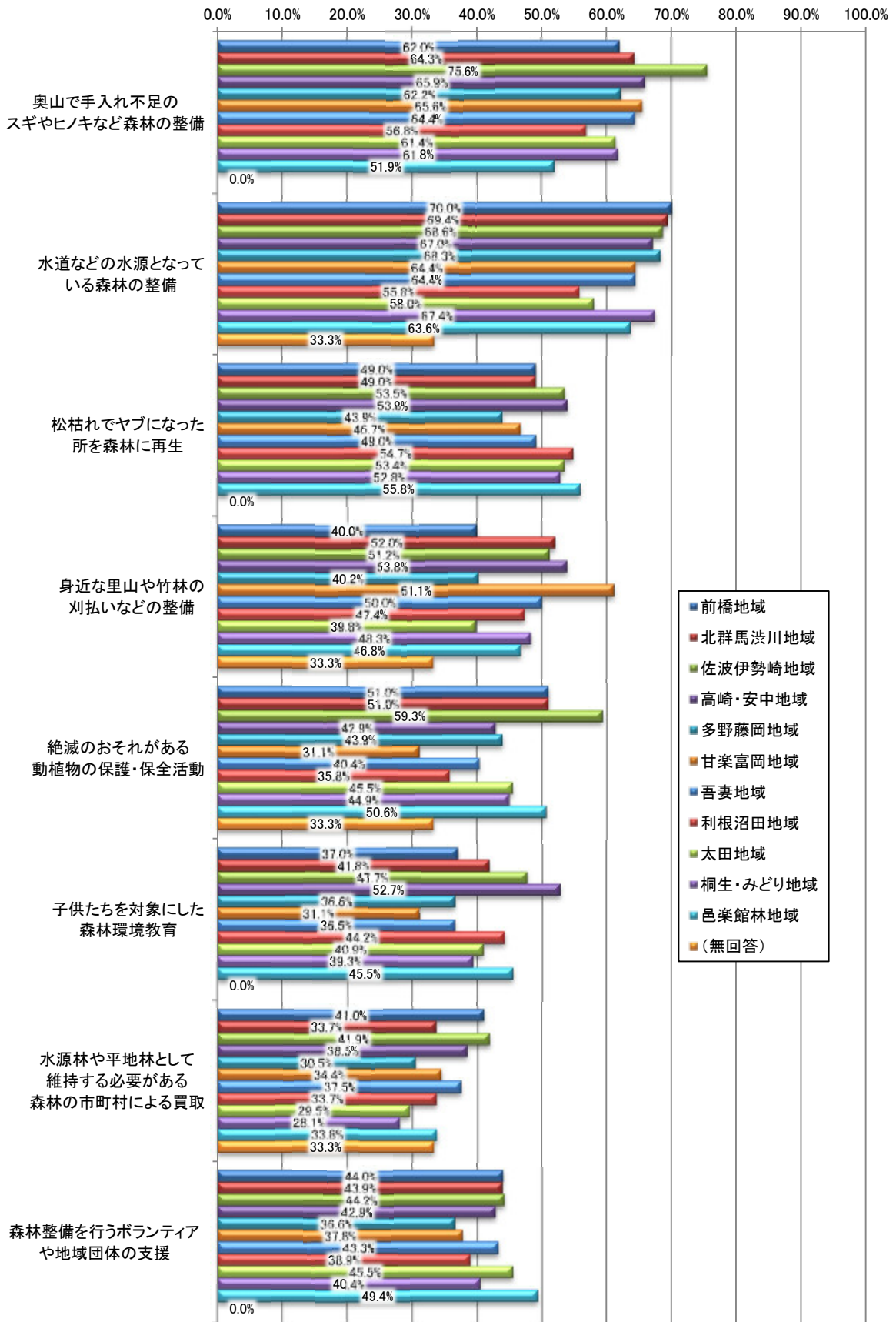


番号	項目	10代		20代		30代	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	7	58.3%	29	59.2%	54	55.1%
2	水道などの水源となっている森林の整備	8	66.7%	31	63.3%	56	57.1%
3	松枯れでヤブになった所を森林に再生	6	50.0%	22	44.9%	49	50.0%
4	身近な里山や竹林の刈払いなどの整備	4	33.3%	21	42.9%	32	32.7%
5	絶滅のおそれがある動植物の保護・保全活動	6	50.0%	21	42.9%	61	62.2%
6	子供たちを対象にした森林環境教育	2	16.7%	18	36.7%	55	56.1%
7	水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取	0	0.0%	10	20.4%	35	35.7%
8	森林整備を行うボランティアや地域団体の支援	5	41.7%	15	30.6%	45	45.9%

番号	40代		50代		60代		70代		80代		(年齢無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	96	67.6%	104	63.4%	160	65.6%	131	60.9%	49	63.6%	0	0.0%
2	88	62.0%	110	67.1%	165	67.6%	149	69.3%	45	58.4%	1	50.0%
3	71	50.0%	78	47.6%	129	52.9%	113	52.6%	42	54.5%	0	0.0%
4	52	36.6%	75	45.7%	139	57.0%	113	52.6%	47	61.0%	1	50.0%
5	62	43.7%	72	43.9%	101	41.4%	95	44.2%	32	41.6%	1	50.0%
6	53	37.3%	59	36.0%	86	35.2%	101	47.0%	37	48.1%	0	0.0%
7	44	31.0%	47	28.7%	92	37.7%	88	40.9%	34	44.2%	0	0.0%
8	48	33.8%	69	42.1%	99	40.6%	101	47.0%	41	53.2%	1	50.0%

年代別では10代では公有林化について回答がなかった。また、30代では「奥山の森林整備」が若干少なく、「子どもへの森林環境教育」が高い結果となった。

#### ④ 地域別の回答者数



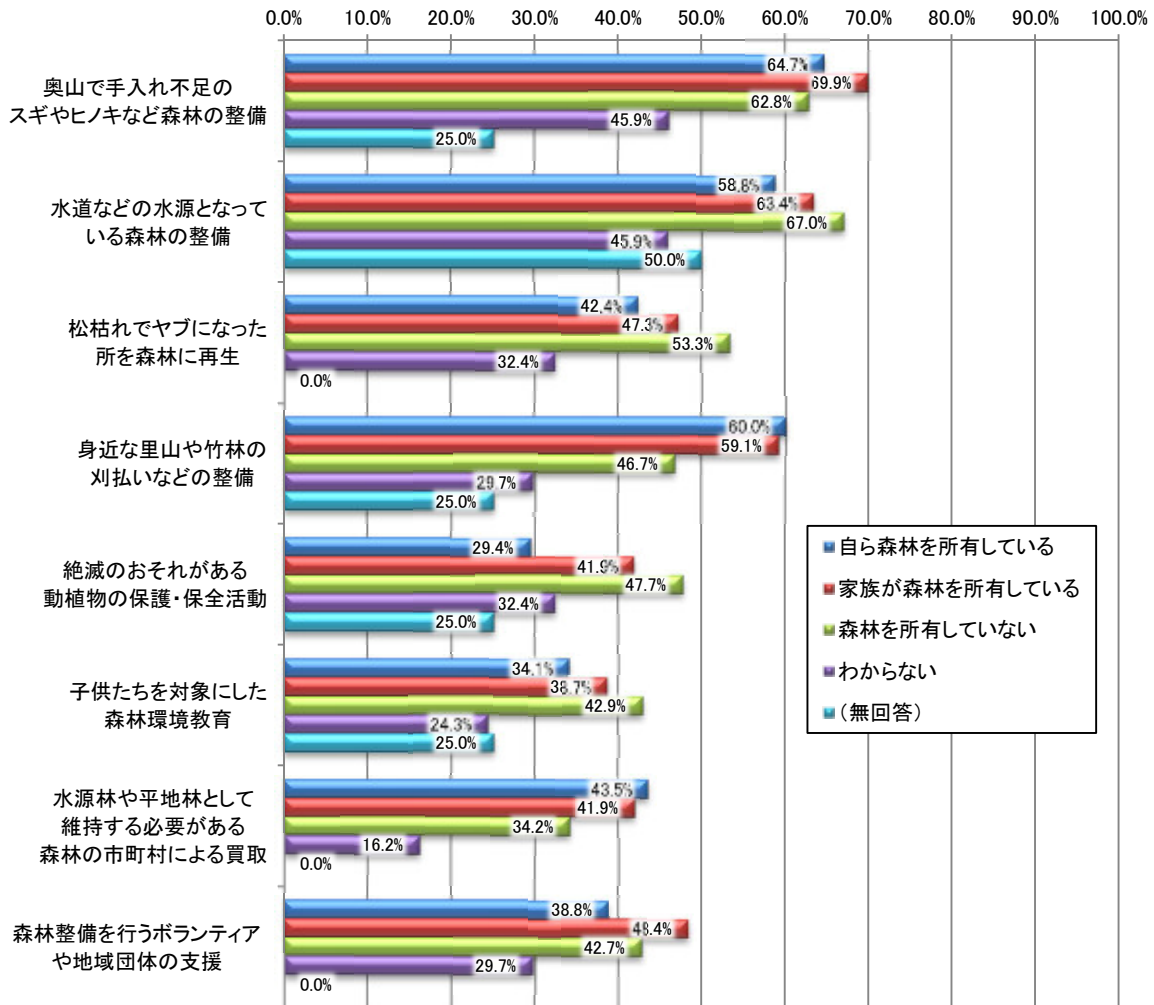
番号	項目	前橋地域		北群馬・渋川地域		佐波伊勢崎地域	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	62	62.0%	63	64.3%	65	75.6%
2	水道などの水源となっている森林の整備	70	70.0%	68	69.4%	59	68.6%
3	松枯れでヤブになった所を森林に再生	49	49.0%	48	49.0%	46	53.5%
4	身近な里山や竹林の刈払いなどの整備	40	40.0%	51	52.0%	44	51.2%
5	絶滅のおそれがある動植物の保護・保全活動	51	51.0%	50	51.0%	51	59.3%
6	子供たちを対象にした森林環境教育	37	37.0%	41	41.8%	41	47.7%
7	水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取	41	41.0%	33	33.7%	36	41.9%
8	森林整備を行うボランティアや地域団体の支援	44	44.0%	43	43.9%	38	44.2%

番号	高崎・安中地域		多野藤岡地域		甘楽富岡地域		吾妻地域		利根沼田地域		太田地域	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	60	65.9%	51	62.2%	59	24.2%	67	64.4%	54	56.8%	54	61.4%
2	61	67.0%	56	68.3%	58	23.8%	67	64.4%	53	55.8%	51	58.0%
3	49	53.8%	36	43.9%	42	17.2%	51	49.0%	52	54.7%	47	53.4%
4	49	53.8%	33	40.2%	55	22.5%	52	50.0%	45	47.4%	35	39.8%
5	39	42.9%	36	43.9%	28	11.5%	42	40.4%	34	35.8%	40	45.5%
6	48	52.7%	30	36.6%	28	11.5%	38	36.5%	42	44.2%	36	40.9%
7	35	38.5%	25	30.5%	31	12.7%	39	37.5%	32	33.7%	26	29.5%
8	39	42.9%	30	36.6%	34	13.9%	45	43.3%	37	38.9%	40	45.5%

番号	桐生・みどり地域		邑楽館林地域		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	55	61.8%	40	51.9%	0	0.0%
2	60	67.4%	49	63.6%	1	33.3%
3	47	52.8%	43	55.8%	0	0.0%
4	43	48.3%	36	46.8%	1	33.3%
5	40	44.9%	39	50.6%	1	33.3%
6	35	39.3%	35	45.5%	0	0.0%
7	25	28.1%	26	33.8%	1	33.3%
8	36	40.4%	38	49.4%	0	0.0%

居住地域別についても、多少の前後はあるが、地域による大きな差異はなかった。

### ⑤ 森林所有状況別回答者数



項目	自ら森林を所有している		家族が森林を所有している		森林を所有していない		わからない		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	回答数	構成比	回答数	構成比	構成比	回答数	構成比
奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	55	64.7%	65	17	45.9%	1	25.0%	69.9%	492	62.8%
水道などの水源となっている森林の整備	50	58.8%	59	17	45.9%	2	50.0%	63.4%	525	67.0%
松枯れでヤブになった所を森林に再生	36	42.4%	44	12	32.4%	0	0.0%	47.3%	418	53.3%
身近な里山や竹林の刈払いなどの整備	51	60.0%	55	11	29.7%	1	25.0%	59.1%	366	46.7%
絶滅のおそれがある動植物の保護・保全活動	25	29.4%	39	12	32.4%	1	25.0%	41.9%	374	47.7%
子供たちを対象にした森林環境教育	29	34.1%	36	9	24.3%	1	25.0%	38.7%	336	42.9%
水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取	37	43.5%	39	6	16.2%	0	0.0%	41.9%	268	34.2%
森林整備を行うボランティアや地域団体の支援	33	38.8%	45	11	29.7%	0	0.0%	48.4%	335	42.7%

森林所有状況についても、多少の前後はあるが、大きな差異はなかった。